

社会福祉法人森と木

平成 30 年度事業報告

I 平成 30 年度事業報告の概要

II 管理部門事業報告

III 事業報告

ベジタボーラ

もりときマーケット

ようこそ森と木ラボ

カフェハクナマタタ

もりときピコ

デイセンター風の森

モーリー農場

もりすけ

森と木 LIFE

地域生活相談室ベターデイズ

森と木 365(短期入所)

森と木 365(在宅支援)

こども発達支援センターBee

エンパワメントセンターワズハウス(共同生活援助)

グリーンハイツ稲田(短期入所)

こどもの自立生活館茜舎

ワズハウス

自立サポート森と木

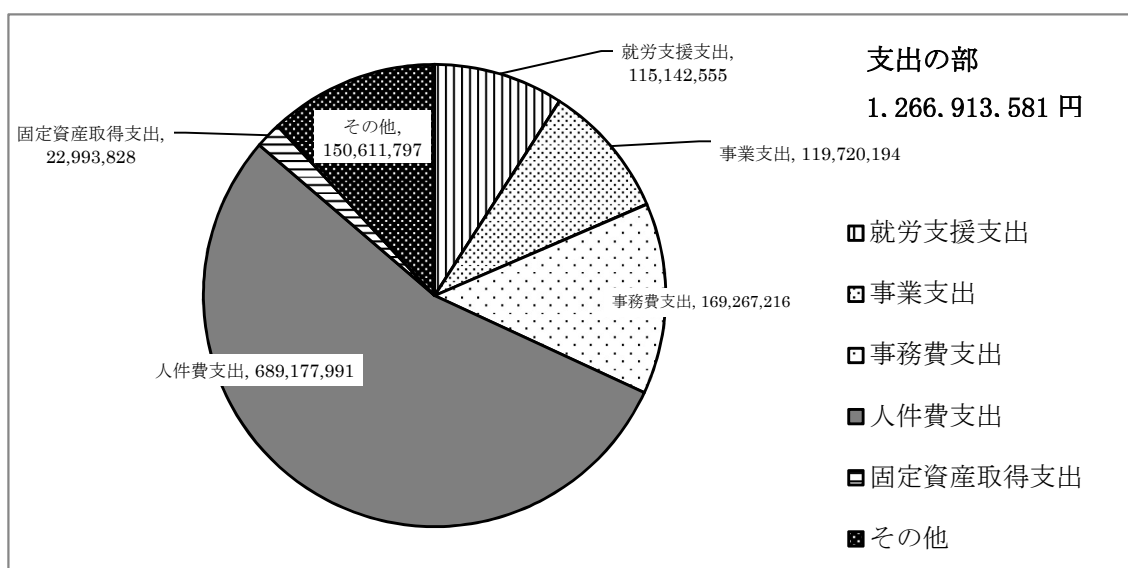
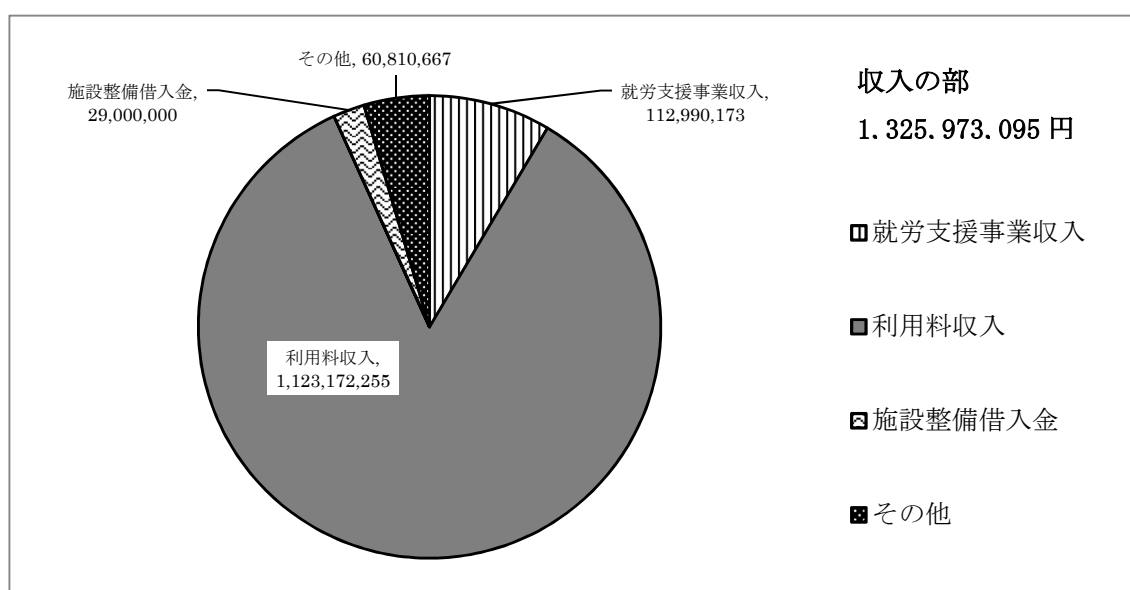
I. 平成 30 年度事業の概要

1. 総括

地域や家庭及び子育て環境の変化等による緊急受入れの要請等、増大する地域の福祉的課題に対して森と木365における短期入所での受入れや、グループホーム等の利用につなげ、困難な状況を抱える障害児者や家族の支援を重点的に行った。児童相談所や市町村等、関係機関からの要請にも多く応えてきた。通所施設ではそれぞれの特色や特徴を活かし、魅力的な製品づくりを進め、利用者に対する職員の支援力向上を目指して取り組み、大きな前進ができた一年であった。しかし、平成29年度に起こった職員による利用者への虐待行為が平成30年度になり判明し、職員の権利擁護の意識が不十分だったことを反省し、職員個々人の倫理意識向上のための研修に取り組んだ。

大きな施設整備等は実施しなかったが、貸主の協力の下、こども発達支援センターB e eの増築工事を行い、子ども達が快適に過ごせるように環境整備をした。

2. 決算の状況〔グラフ〕 ※平成 30 年度の資金収支状況



Ⅱ. 管理部門事業報告

平成 30 年度 法人本部

1. 平成 30 年度 理事会、評議員会、内部監査等

平成 30 年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

(1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	平成 30 年 5 月 11 日 (金) 午後 1 時 30 分より	平成 29 年度事業・会計・利用者金銭管理監査	承認
第 1 回 理事会	平成 30 年 5 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 29 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 平成 30 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案: 全会一致可決 第 2 号議案: 全会一致可決 第 3 号議案: 全会一致可決 第 4 号議案: 全会一致可決
第 1 回 評議員会	平成 30 年 6 月 16 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 29 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案: 全会一致承認 第 2 号議案: 全会一致承認 第 3 号議案: 全会一致承認
第 2 回 理事会	平成 30 年 7 月 17 日 (火) 午後 7 時 00 分より	第 1 号議案 職員の非違行為について	第 1 号議案: 全会一致承認
第 3 回 理事会	平成 30 年 8 月 21 日 (火) 午後 7 時 00 分より	第 1 号議案 非違行為のあった職員の処分について 第 2 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案: 全会一致承認 第 2 号議案: 全会一致可決
第 4 回 理事会	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 諸規定の改定について 第 2 号議案 役員等報酬に関する規則の取下げについて 第 3 号議案 職員の処分について	第 1 号議案: 全会一致可決 第 2 号議案: 全会一致可決 第 3 号議案: 全会一致承認
役員懇談会	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 午後 4 時 00 分より	上半期報告について (1) 上半期事業報告 (2) 上半期会計報告 (3) 職員の非違行為について	— — —
第 5 回 理事会	平成 31 年 3 月 9 日 (土) 午後 2 時 30 分より	第 1 号議案 平成 31 年度事業計画 (案) について 第 2 号議案 平成 31 年度予算書 (案) について 第 3 号議案 平成 30 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案: 全会一致可決 第 2 号議案: 全会一致可決 第 3 号議案: 全会一致可決 第 4 号議案: 全会一致可決

(2) 理事、評議員、評議員選任・解任委員出欠状況

	日時	出席者	欠席者
内部監査	平成30年5月11日(金) 午後1時30分より	大池ひろ子・高坂亀美雄 白井千尋・岸田隆・奥村和枝	無
第1回 理事会	平成30年5月26日(土) 午後1時30分より	白井千尋・仁科研二・増田修史・岸田隆 奥村和枝・大池ひろ子・高坂亀美雄	田中宗史
第1回 評議員会	平成30年6月16日(土) 午後1時30分より	岡野さゆり・武田るい子・樋口清志・寺澤小百合 高坂亀美雄・白井千尋・岸田隆・奥村和枝	金澤敦志・寺沢博文 山本恭子・大池ひろ子
第2回 理事会	平成30年7月17日(火) 午後7時00分より	白井千尋・田中宗史・仁科研二・増田修史 岸田隆・奥村和枝・大池ひろ子・高坂亀美雄	無
第3回 理事会	平成30年8月21日(火) 午後7時00分より	白井千尋・仁科研二・増田修史・岸田隆 奥村和枝・大池ひろ子	田中宗史・高坂亀美雄
第4回 理事会	平成30年12月1日(土) 午後3時30分より	白井千尋・仁科研二・増田修史・岸田隆 奥村和枝・大池ひろ子	田中宗史・高坂亀美雄
第5回 理事会	平成31年3月9日(土) 午後2時30分より	白井千尋・田中宗史・仁科研二・増田修史 岸田隆・奥村和枝・大池ひろ子	高坂亀美雄

2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	のべ利用人数
書籍購入費(関係書籍等45冊・映画鑑賞21人)	121,483円	26人
資格取得費	150,000円	3人
研修参加費	59,885円	5人
合計	331,368円	34人

3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員の資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

開催回数・支給金額

開催回数	支給金額
10回	136,570円

4. 新規職員採用試験

平成31年度新規職員採用試験の実施

(1) 試験日時等

日時	第1回	平成30年	7月	7日(土)	午前9時15分より
	第2回	平成30年	8月	18日(土)	午前9時15分より
	第3回	平成30年	10月	20日(土)	午前9時30分より
	第4回	平成31年	1月	10日(木)	午前9時00分より
会場	エンパワメントセンター ワンズハウス 2階研修室				

内容 筆記試験・面接試験

(2) 採用結果

新人職員 2名採用

5. 平成30年度職員研修の実施

職員のスキルアップを目指して、以下の通り内部研修の実施、外部研修への参加をした。

研修名	研修内容	人数
職員研修	テーマ別ゼミ(7回) 発達障害ゼミ 講師：総括センター長 岸田隆	14人
	外部研修(1回) 横浜やまびこの里・横浜市発達障害者支援センター	4人
	全体職員研修(1回) 「虐待の防止に向けて、支援を考える」講師：佐藤彰一氏	44人
	長野市障害者虐待防止・権利擁護研修(3回)	80人
リーダー研修	長野市障害ふくしネット全体協議会(1回)	7人
	タウンミーティング(1回)	8人
パートナースタッフ研修	スタッフ研修(6回) 「障害のある人の権利擁護について」講師：総括センター長 岸田隆	331人
虐待防止研修	虐待対応事例から、虐待発生の要因や再発防止について検討するグループワークを行った。(10回)	167人
その他	相談支援専門員初任者研修	3人
	相談支援専門員現任研修	4人
	強度行動障害支援者養成研修	4人
	児童発達支援管理責任者研修	1人

6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

場所	ワンズハウス2階 託児室														
利用者数	4人														
職員体制	保育士2人														
開所日	209日(平成30年4月1日～平成31年3月31日)														
開所時間	8:30～17:30														
基本日課	<table border="1"><tr><td>8:30</td><td>9:30</td><td>11:00</td><td>12:30</td><td>15:00</td><td>16:00</td><td>17:30</td></tr><tr><td>受入</td><td>朝寝</td><td>昼食</td><td>昼寝</td><td>おやつ</td><td>帰宅①</td><td>帰宅②</td></tr></table>	8:30	9:30	11:00	12:30	15:00	16:00	17:30	受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	帰宅②
8:30	9:30	11:00	12:30	15:00	16:00	17:30									
受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	帰宅②									

7. 苦情解決状況

苦情の内容		苦情の件数	結果		
1	施設運営に関すること	0 件	9 件	1 解決済み	9 件
2	施設整備等に関すること	0 件		2 継続中	0 件
3	支援に関すること	9 件			
4	その他	0 件			

8. 第3者委員報告会

日時	内容	出席者
平成 31 年 3 月 6 日(水) 午後 1 時 30 分より	平成 30 年度 苦情解決の状況について	山岸建文・矢下光子 白井千尋・岸田隆・奥村和枝

平成 31 年 3 月 6 日

平成 30 年度 苦情解決状況 報告書

平成 30 年度における苦情を下記とおり受付・解決しましたので、ご報告いたします。

記

受付日付	事業所	苦情の内容	解決状況
4/6	森と木 LIFE (生活介護)	着替え用に持たせた洋服が破けていたが、その説明がなかった。	解決済
6/13	もりときピコ (放課後等デイサービス)	同じフロアにある地域活動支援センターの利用者が不安定になり物を破損する行為を送迎に来た母親が目にして不安になり、サービスの利用を控えたいと申し出があった。	解決済
9/8	もりときピコ (放課後等デイサービス)	定期利用日の日にちを確認した際に、電話対応した職員が日にちを間違えて伝えてしまったため、本来の希望日に利用ができなかった。	解決済
9/18	森と木 LIFE (生活介護)	カフェ企画のお知らせが開催日の 3 日前に配付され、自宅に週末帰省する時にはすでに終わっていた。	解決済
9/20	森と木 LIFE (生活介護)	月の予定は本人に渡さずに母親が直接受け取るようになっていたが、ノートに挟まっていた。以前からお願いしていたのに支援が統一されていない。	解決済
10/12	ベターデイズ (相談支援)	短期入所事業所で体調が安定しないと利用が難しいと断られたため、他事業所を探してほしいと依頼したがなかなか探してもらえない。	解決済

11/1	もりときマーケット (就労継続支援 B 型/生活介護)	30 分遅刻してしまったため、その分退勤時間をずらして仕事をしたいと申し出たが断られた。以前に同様のことがあった際は、ずらして勤務することが認められたが、この日は断られた。職員によって対応が変わるのは分かりづらい。	解決済
12/1	ワンズハウス (放課後等デイサービス)	風邪をひいているので活動内容を配慮してほしいと伝え、外出活動は控えますと電話に出た職員には言われたが、実際は外出をして風邪が悪化してしまった。職員間の伝達や情報共有がどうなっているのか疑問がある。	解決済
2/1	森と木 LIFE (生活介護)	一緒に活動する利用者の方が不穏になり他害行為の可能性のある時は、周りにいる利用者の方に対してどのような対応をしているのか教えてほしい。	解決済

上記の苦情解決状況報告書を確認しました。

平成 31 年 3 月 6 日

第三者委員氏名 山 岸 建 文 

第三者委員氏名 矢 下 光 子 

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	主たる事業所：ベジタボーラ 従たる事業所：ごはんの森	サービスの種類	就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>サンドイッチカフェでの仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援を行った。また、店舗だけでなく外部販売やイベント販売、また東急での販売に積極的に出店し、外部と交流する機会も多く持てた。</p> <p>弁当製造の調理や配達、店舗での就労機会を提供することで、仕事へのやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。Bee、森と木、風の森厨房では、それぞれ 1～2 名の利用者の方が働き、さまざまな作業種に取り組んだ。弁当、1 日平均 280 食程度の給食を製造し、売り上げを伸ばすことができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、就労継続支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 就労継続支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 3 名、職業指導員 3 名、目標工賃達成指導員 2 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 15 名（定員 20 名）</p>		
5. 開設時間	<p>ベジタボーラ 火曜日～日曜日 午前 9:00～午後 4:00 ごはんの森 月曜日～金曜日 午前 9:00～午後 4:00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 店舗の運営（ベジタボーラ） パン屋の運営をし、調理補助、接客、洗浄、清掃、接客、外部販売等の作業支援を行った。また、雑誌やテレビでの紹介なども受入れ、宣伝活動も積極的に行なった。売上 30,499,658 円、工賃総額 1,249,290 円、平均工賃 17,351 円/月</p> <p>(2) 弁当製造・給食施設の経営（ごはんの森） 調理、盛りつけ、配達、回収、洗浄作業を行った。 給食施設の運営（こども発達支援センターBee、森と木、風の森）を行った。 売上 35,743,110 円、工賃総額 1,758,510 円、平均工賃 11,802 円/月</p> <p>(3) 勉強会 もりときマーケットと合同で、年 3 回「経営戦略会議」を行った。 各店舗ごとに、売り上げアップを目指した意見を出し合いながら目標を設定し、それに向けた様々な案を実践することができた。</p> <p>(4) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。 毎回 10 名程度の参加があった。</p> <p>(5) 研修旅行 ベジタボーラ『接客について・衛生について』 平成 30 年 11 月 18 日（日）～11 月 19 日（月） 於：戸倉上山田 ごはんの森『食品衛生について・今後のお楽しみ献立について』 平成 30 年 9 月 28 日（金）～9 月 29 日（土） 於：斑尾高原どんぐり村</p> <p>(6) 店舗製品作り、アート活動 週に 1 日、希望により絵画などのアート活動を実施した。 陶芸では店舗で使う皿などを制作した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	就労継続支援B型 生活介護
1. 総括	<p>レストランや喫茶店など店舗での仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援を行った。日々のコミュニケーションを大切に、一人一人の好きなこと、得意なことを見極め、新しい作業の提案を行った。また最初は難しいと感じる仕事も、視覚支援や補助道具を活用し、利用者の方に合ったやり方を見つけ、達成感や向上心につなげることができた。</p> <p>余暇企画も継続して行い、他店舗の利用者の方やスタッフとの交流を楽しみながらリフレッシュする機会を作ることができた。</p> <p>曇り時々晴れ、駅前店は繁忙期の客足が伸びず、前年度を下回ったが、もりたろうは前年度並みの売り上げを確保できた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続支援B型支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援B型計画を作成し6か月に1回モニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	<p>管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員4名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、看護師1名、嘱託医1名</p>		
4. 利用者実績	<p>1日平均 就労継続支援B型4名（定員10名）、生活介護4名（定員10名）</p>		
5. 開設時間	<p>曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう：火曜～日曜 午前9時～午後4時 曇り時々晴れ駅前店：月曜～日曜 午前9時～午後4時</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 店舗の運営 レストラン、喫茶店等飲食店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、店外販売、清掃等の作業支援を行った。また、ポスティングの他、雑誌やテレビでの紹介なども受入れ、宣伝活動も積極的に行った。</p> <p>①もりたろう売上 23,731,315 円、 工賃総額 954,480 円、平均工賃 13,443 円/月 ②曇り本店売上 8,950,406 円、 工賃総額 727,010 円、平均工賃 11,726 円/月 ③駅前店 売上 14,065,684 円、 工賃総額 334,608 円、平均工賃 13,942 円/月</p> <p>(2) 勉強会の実施 年3回「経営戦略会議」を行った。 各店舗ごとに、売り上げアップを目指した意見を出し合いながら目標を設定し、それに向けた様々な案を実践することができた。</p> <p>(3) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。毎回7～8名程度の参加があった。</p> <p>(4) 研修旅行 10/28～10/29 湯田中温泉、味噌蔵見学、衛生管理について</p> <p>(5) 店舗製品作り、アート活動 店舗で使うカップやお皿などの製品作り、また絵画などのアート活動を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	自立訓練（生活訓練） 就労移行支援
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に自己理解を深めながら自立した生活を送っていただけるようになることを目的に、社会体験や学習活動等に取り組んだ。自立訓練事業では、個人で目標を決めて取り組む活動や仲間と目的を共有した協同活動、支援者との面談などを通して周囲の人との信頼関係を築き、自尊心を高めていけるよう支援を行った。住民自治協議会等と連携しイベントに参加する機会をつくることで、地域の人たちとの関係を築きながら、役割を持って社会へ参加していく経験となるような機会とし、活動に取り組んだ。</p> <p>新規で就労移行支援事業も行い、進路選択のためのアセスメントやワークトレーニングの支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練事業・就労移行支援事業を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 自立訓練・就労移行支援計画を作成し3か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	<p>管理者1名、サービス管理責任者1名、就労支援員1名、生活支援員3名、職業支援員1名</p>		
4. 利用者実績	<p>就労移行支援1日平均3名（定員6名）、自立訓練9名（定員14名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)個別活動 興味のあることやできること、やってみたいことを一人ひとりが課題を決めて活動に取り組んだ。検定にむけた勉強や読書、アート制作、パソコントレーニングなど、本人が決めて取り組むことで達成感を感じられる活動となった。</p> <p>(2)地域活動 子育てサロンへのボランティア参加や市民交流センターのイベント販売、秋葉神社の追儺祭（節分）で大豆の提供を行った。</p> <p>(3)自分研究 テーマに沿って自分の考えを発表したり、自分の気持ちを伝える力や相手の話を聞く力など、コミュニケーションスキルを高める活動を行った。</p> <p>(4)特別活動 長距離のウォーキングイベント「ラボウォーク」を実施（5月24～25日、権堂商店街七夕飾りの製作・出展、秋のチャレンジ企画として飯綱山登山と飯山七福神めぐりの実施（9月28日）、善光寺灯明祭りの切り絵製作・出展、1年間の活動発表の機会として「ラボ感謝祭」（3月3日）を開催した。1つの目的に向けて協力しながら、仲間との関係を深められる機会となった。</p> <p>(5)スポーツ活動 体力づくりのために、球技やウォーキングなどのスポーツに取り組んだ。</p> <p>(6)ワークトレーニング 企業での共同作業のイメージを持てるようになることを目的にして、協力・連携を取りながら作業を行った。（桜井甘精堂の箱折り、ベジドリーのラベル貼り、ネット販売の製品発送作業）</p> <p>(7)職場見学、職業体験 進路を考えるきっかけ作りとして職場見学や職場体験を行い、就労のイメージを持っていけるような活動を提供した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	地域活動支援センター カフェハクナマタタ	サービスの種類	地域活動支援センター I 型
1. 総括	<p>地域活動支援センター「カフェハクナマタタ」では、地域で暮らす障害のある人が安心して過ごせるための居場所の提供を行い、通年で多くの人利用があった。個別相談の支援を行い、必要に応じて相談支援専門員や関係機関と連携をとり、次のステップへ移行するための支援も行った。</p> <p>地域活動としては、住民自治協議会や市民交流センター利用者など地域の人と関係をつくり理解を広めるための企画として、オープンカフェを行ったり、啓発活動として勉強会を開催した。また地域の人と共に活動する機会をつくり、ボランティア育成の場とした。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 憩いの場の提供「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援</p> <p>(2) サークル活動の実施</p> <p>(3) 当事者の話す会「しゃべくりカフェ」の開催</p> <p>(4) 各種イベントの開催</p> <p>(5) 地域とつながり理解を広めるための活動「オープンカフェ」の実施</p> <p>(6) 地域住民にむけた啓発活動「よりよく生きる勉強会」の開催</p> <p>(7) カフェ通信「だいじょうぶだぁ通信」の発行</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、専門職員 1 名、指導員 2 名		
4. 利用者実績	1 日平均 20 名		
5. 開設時間	火曜日～土曜日 午前 10 : 00～午後 7 : 00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援 誰でも立ち寄れる場所としてカフェを運営した。個別相談の支援も行き、相談支援機関と連携を図りながら、次のステップのための情報提供等を行った。</p> <p>(2) サークル活動 平日の夜間と土曜日の日中の時間帯に、料理・ゲーム・ダイエット・クラフト・将棋・スイーツサークルを行った。メンバーを固定して行き、同じ趣味を持つ人同士のつながりができ、楽しみを共有する関係が築けた。</p> <p>(3) しゃべくりカフェ 高校生以上を対象とし、日頃感じていることや悩みなどを話したり、聞きあったりする機会をつくった。思いを共有しあえる機会となった。</p> <p>(4) 各種イベントの開催 喫茶外出やスポーツ、飲み会など、余暇を楽しむためのイベントを開催した。花見や夏祭りなど季節のイベントを楽しめる企画も行った。</p> <p>(5) オープンカフェ 毎月一度（第 2 木曜日）、住民自治協議会や民生委員等と連携し、地域の人が集える場としてカフェを開放し、障害理解を広める機会をつくった。</p> <p>(6) よりよく生きる勉強会 障害理解促進のための啓発活動として、長野圏域発達障がいサポマネ、愛和病院の平方医師を招いて地域住民向けの勉強会を開催した（10 月 3 日）。</p> <p>(7) だいじょうぶだぁ通信 2 ヶ月に一度、カフェのイベントやお知らせを掲載した通信を発行し、利用者や相談支援機関、他事業所等に配布し、情報提供を行なった。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>発達障害のある小学生、中学生、高校生を対象に、放課後や休日に安心して過ごせる場所の提供、また支援者や友達との信頼関係を築いたりコミュニケーション力や社会性を育むことを目的にしたプログラムで支援を行った。</p> <p>チャレンジャーズとして、トレッキングやスノーシュー、キャンプ合宿のチャレンジ企画を実施し、友達と協力したり、挑戦する機会となった。</p> <p>またご家族や学校、病院等関係機関との支援会議を行い、連携を図り情報共有をしながら、ご本人が安心して活動できるように取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議学校訪問、ケア会議への参加、送迎サービス</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 6 名		
4. 利用者実績	1 日平均 9 名（定員 10 名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午後 3：00～午後 7：00／土曜日 午前 9：30～午後 3：30		
6. 活動/作業内容	<p>(1)学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間を設け、支援を行った。</p> <p>(2)友だちタイム 調理や工作、ゲームなど集団活動に取り組むことを通して、友だちとの関わり方やルールを守ること、気持ちのコントロールの仕方などを実践的に学び、自信を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>(3)マイルーム 中高生を中心に個々に必要なスキルの向上を目指し、個別の課題に取り組んだ。</p> <p>(4)クラブ活動 同じ趣味の仲間との関わりを楽しめるよう、アート、スポーツ、鉄道のグループに分かれて活動に取り組んだ。同じメンバーで集まる時間となり、関わりを深めながら共に楽しむ姿が見られた。</p> <p>(5)チャレンジャーズ これまでしたことのないことに挑戦することを目的に、茶臼山登山（5月19日）、戸隠トレッキング（6月9日）、飯山でのキャンプとツリーハウス体験（7月27～28日）、鍋倉高原スノーシュー（1月19日）を行った。キャンプは1泊で行い、家族から離れ友だちと宿泊しながら様々な社会体験の場を提供することができた。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 30 年度】			
事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>風の森の作業活動は、ひとりひとりが得意な事や好きなことを活かしながら、オリジナルの製品作りを進めてきた。</p> <p>活動グループの変更は無く、個々に得意な事を活かして道具など必要な工夫をする事で作業を進め、達成感や充実感を得られるようにした。出来た製品を法人内の店舗に納品したり、創業祭で直接販売する機会をつくり、お客さんと直接交流する場面をつくることができた。</p> <p>身体面では、健康に通所できるような環境に配慮した上で、機能維持的活動や休憩の取り方などをひとりひとりの身体状況に併せ提案した。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 15 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 23 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 作業活動 各作業活動でオリジナル製品製作を行った(木工：笑う BOX、お菓子：ソフトクッキー、クラフト：あかんべー他)。作業工程ではひとりひとりの得意な事や好きな事を活かして取り組むよう提案し、完成した雑貨は店舗納品やイベントで販売等を行った。木工作业では、木工専門のスタッフを配置することで作業を円滑に進める事ができ品質も向上した。お菓子作業では新作クッキー作りについて話し合い、提案があった「シナモンリング」のクッキーを製品化させた。		
	(2) 地域とつながる活動 外で活動することが好きな人を中心に、平林地区の地域掃除や歩道の草取りを継続的に行なった。		
	(3) 体をつくる活動 個別の時間を設け、本人専用の機能維持用具を使い体力維持活動したり、公共のプールを活用したりして体を動かす機会を作ることができた。		
	(4) 個別活動 図書館、買い物など個別の要望に応じて活動した。		
	(5) クラフトショップもりから堂 今年度は森と木創業祭で店舗を開放し、ご近所の方などにもりから堂を知っていただく機会を作ることができた。		
	(6) 余暇活動 毎月季節を感じる事が出来るような活動を提案し外出したり、土曜通所日には不定期で外出企画を実施した。また、忘年会を 12/6～7 に泊りでアゼィリア飯綱にて実施した。		
7. 単年度事業等	建物改修工事		

事業報告書【平成 30 年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	主に知的障害や自閉症がある方を対象に、個々に応じたわかりやすい環境の中で安心して生活を送り、様々な活動を通して地域の人とつながりをもつとともに、地域の中における自分の役割を感じながら、その人らしくやりがいをもって日々すごせるための支援をおこなってきた。		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。		
	(2)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護をおこなってきた。		
	(3)その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 15 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 18 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1)作業活動 グループに分かれて作業活動をし、販売等を通して地域とのつながりを深めてきた。		
	①ジャム・ピクルスグループ できるだけ県内産の原材料を使用したオリジナルジャム・ピクルスの製造・販売をおこなった。また農家と契約をし、原材料の仕入れをおこなった。		
	②トマトケチャップグループ 夏季は加工トマトを栽培し、それらを使用したトマトケチャップを製造し、販売をしてきた。リピーターが増え、県外からの注文が入ることもあった。		
6. 活動/作業内容	③しいたけグループ 原木しいたけを栽培し、生しいたけの販売をおこなった。夏～秋はしいたけ山作業を行い、冬～春はハウス内での栽培をおこない、収穫し販売した。		
	④畑グループ 大豆島、徳間、三才、上駒沢の圃場を作業場所として、無農薬で加工用トマトの栽培や雑穀の栽培をおこなった。また、ピクルスに使用する野菜の収穫や販売目的としての野菜の栽培もおこなった。		
	⑤受注作業グループ 箱折りや袋詰め作業など地域の企業やボランティア団体などからの受託作業を行ってきた。		
6. 活動/作業内容	(2)社会体験プログラム 平日に作業グループごとに外出や食事会などの余暇活動を企画し実施した。 また、一泊または日帰り旅行をした。		
	①社会体験プログラム カラオケ&ランチ：12月21日、12月26日、2月13日、いちご狩り：2月4日 温泉&ランチ：1月29日、3月4日		
	②旅行 上越水族館日帰り：7月17日、9月26日、10月17日、戸隠トレッキング：8月30日 金沢日帰り：10月24日、10月29日 群馬1泊旅行（こんにゃくパーク&鬼押し出し）：6月28日～29日 南信1泊旅行（養命酒工場&駒ヶ根高原散策）：9月6日～7日 山梨1泊旅行（山梨県立リニア見学センター&白百合醸造）：11月29日～30日		
6. 活動/作業内容	(3)アート活動 毎週火曜日の午後に、個別の活動として、陶芸や絵画などのアート活動をおこなった。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 30 年度】			
事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	主に知的障害や自閉症がある方を対象に、個々に応じたわかりやすい環境の中で安心して生活を送り、様々な活動を通して地域の人とつながりをもつとともに、地域の中における自分の役割を感じながら、その人らしくやりがいをもって日々すごせるための支援を行ってきた。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。 (2) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護を行ってきた。 (3) その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員10名、看護師1名、		
4. 利用者実績	1日平均17名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	(1) 作業活動 グループに分かれて作業活動をし、販売等を通して地域とのつながりを深めてきた。 ①焼菓子グループ 無農薬栽培にこだわった雑穀や小麦等の材料を使用し、健康に配慮したグルテンフリーのオリジナル焼菓子の製造と販売を行ってきた。定期的な販売活動を行い、地域との繋がりを大切に行ってきた。 ②エコグループ 主に店舗の協力を得ながら缶回収を行ない、缶の洗浄や減容作業を行い業者への納品を行った。少人数のグループの中で、ひとり一人が役割をもって作業活動に取り組み、達成感を得られるよう支援を行ってきた。 (2) 社会体験プログラム 平日に外出や食事会など作業グループの特性に合わせ余暇活動を企画し実施した。また、一泊または日帰り旅行を行った。 ①社会体験プログラム バラ祭り：5月31日、6月1日、6月4日 温泉&ランチ：1月22日 二葉堂ケーキ作り：3月7日、3月15日 ②旅行 上越水族館日帰り：7月17日、9月26日、10月17日 戸隠トレッキング：8月30日 金沢日帰り：10月24日、10月29日 群馬1泊旅行（こんにゃくパーク&鬼押し出し）：6月28日～29日 南信1泊旅行（養命酒工場&駒ヶ根高原散策）：9月6日～7日 山梨1泊旅行（山梨県立リニア見学センター&白百合醸造）：11月29日～30日 (3) アート活動 毎週火曜日の午後に、個別活動として絵画のアート活動をおこなってきた。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	森と木 LIFE 森と木 365 デイフロア	サービスの種類	生活介護
1. 総括	行動障害がある自閉症の方や重い知的障害があるために、人との関わりや日常生活に困難を抱えている方を主な対象として、構造化された環境や日課を提供し、安心して社会生活を送るための支援について検証・確立すると共に、無理の無い範囲で人と関わることに慣れていく機会を提供することを目的として活動を行った。		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 13 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 17 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 活動拠点とそれぞれの目的 森と木 LIFE を、利用者の許容できる刺激のレベルに合わせた 3 つの拠点に分け、拠点それぞれで活動を行った。利用者の障害特性に合わせて、分かりやすい日課を提示したり、落ち着くことのできる環境を用意したり、気になる物を極力減らしたりするなどの支援を行なった。 森と木 365 デイフロアでは、それぞれのペースに合わせて作業や趣味的な活動に取り組み、安心できる環境を確保しつつ社会との繋がりを意識した活動を行った。</p> <p>(2) 基本的な日課となる活動 空き缶リサイクル・企業からの受注作業・課題活動・絵画などのアート活動・ウォーキング等の運動に取り組んだ。</p> <p>(3) 余暇的な活動 森の家を使い、昼休みの時間にカフェを運営した。利用者がお菓子やジュースの飲食ができたり、料理や菓子を一緒に作って食べたりするなど、利用者が楽しめるイベントを計画・実行した。日帰り旅行を企画し 5, 6 人のグループで長野県内や近隣の県に出かけてレジャー等を楽しんだ。また、個別のニーズに合わせて、買い物・外出・外食・料理などの余暇的な活動を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 30 年度】

<p>事業所名</p>	<p>地域生活相談室 ベターデイズ</p>	<p>サービスの種類</p>	<p>長野市障害者相談支援事業 長野市児童発達相談支援事業 長野市障害者虐待防止・権利擁護相談支援事業 長野市障害者差別解消相談支援事業 長野県障がい児等療育支援事業 長野県発達障がいサポートマネージャー整備事業 指定一般相談支援事業 指定特定障害者相談支援事業・障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業</p>
<p>1. 総括</p>	<p>地域生活相談室ベターデイズは、長野市からの委託相談 4 事業、長野県からの委託相談支援 2 事業、指定特定障害児・者相談支援事業を中心に運営を行った。</p> <p>児童発達相談支援事業では、障害のある子どもと向き合うことが難しく子育てをすることに不安を抱えるご家族からの相談、要対協や児相が関与している家庭全体への支援が必要な家族への福祉サービスの調整依頼が増加傾向であった。昨年度に引き続き、障害理解・啓発を目的に、障害当事者である南雲明彦氏を招き、学習障害についての研修会を開催した。</p> <p>障害者相談支援事業では、強度行動障害や発達障害、精神障害のある人で、福祉サービスにはつながらず、社会資源の不足などにより支援の見通しがつかずに家族が抱え込んでしまう困難ケースの相談が増えてきており、地域課題としてケアマネ連絡会で検討し、専門部会への投げかけを行った。</p> <p>虐待防止・差別解消相談支援事業としては、通報・相談受付とともに、福祉事業所や民生児童委員を対象とした出前講座の開催などを行った。法律の周知がされていないこともあり、相談・通報件数は多くなかった。福祉施設従事者はもちろんのこと、当事者や民間事業者等への啓発活動の必要性を感じた。</p> <p>障害児等療育支援事業では長野圏域北部を担当し、障害当事者をはじめ、ご家族や担任の先生などへの相談援助を行った。また、長野圏域のネットワーク作りとして、放課後デイサービス等事業所連絡会を行い、地域課題の共有をはかった。</p> <p>発達障がいサポートマネージャーについても、例年どおり、医療・福祉・教育等の支援機関がつながりを持てるような働きかけを行った。また、事例検討を通して各機関の役割を理解できるよう、発達障害診療連絡協議会を 2 回開催した。</p> <p>特定障害児・者相談支援事業としては、前年度契約者数が 600 名超となったこともあり、相談支援専門員を増員して対応したが、相談支援専門員一人の担当する障害児・者数も平均 100 名弱となり、昨年以上にケア会議の回数や書類作成量が増え、一人ひとりに向き合い丁寧な相談支援ができなくなってしまった。</p> <p>指定一般相談支援事業、長野市ケアプラン作成事業については、西駒郷や他圏域からの相談はあったが、地域移行までにはつながらなかった。</p>		
<p>2. 事業の内容</p>	<p>(1) 長野市障害者相談支援センター 長野市在住の障害者を対象に相談支援を行った。また、長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、ケアマネ連絡会での事例検討、地域の課題の検討を行った。 【相談件数】 1,577 件 （内訳）訪問支援：80 件、同行：48 件、来所相談：283 件、電話相談：695 件、メール相談：44 件、個別支援会議：311 件、関係機関：100 件 その他：16 件</p> <p>(2) 長野市発達相談支援センター 長野市在住の障害児とその家族を対象に相談支援を行った。また、長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、ケアマネ連絡会で事例検討、こども部会では地域課題を検討した。また、長野市からの委託事業として、市民を対象とした障害理解のための研修会を行った。 【相談件数】 1,783 件 （内訳）訪問支援：109 件、同行：83 件、来所相談：158 件、電話相談：353 件、メール相談：13 件、個別支援会議：262 件、関係機関：794 件 その他：11 件</p>		

	<p>・障害児発達支援研修啓発業務：「長野市こどもの発達を考える市民勉強会」 平成31年1月19日（土）、『自分らしく生きる』をテーマに研修会を実施し、120名の方に参加いただいた。</p> <p>(3)長野市障害者権利擁護サポートセンター（虐待防止・差別解消） 虐待防止・権利擁護相談支援として、障害者虐待防止の出前講座を事業所向けに行った。また長野市の委託事業として市内福祉施設従事者向けの障害者虐待防止・権利擁護研修会を3回実施した。 差別解消相談支援として、民生児童委員や事業所向けに、差別解消法の研修会を実施した。また、長野市障害ふくしネットやさしいお店プロジェクトの事務局として、差別解消法の啓発活動を行った。 【相談（通報）件数】45件 【出前講座】35回（1,349名参加）</p> <p>(4)長野県障がい児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に、園訪問相談を行い必要に応じ療育支援や福祉サービスの情報提供を行った。また、放課後等デイサービス事業所連絡会や障害のある子どもを持つ親御さんを対象にゆったりズム（学習会）を実施した。 【相談件数】2,949件 （内訳）訪問支援：258件、同行：111件、来所相談：141件、電話相談：1,299件、メール相談：433件、個別支援会議：569件、関係機関：138件</p> <p>(5)発達障がいサポートマネージャ整備事業 長野圏域を対象に、発達障害のあるご本人や、家族の相談を行っている支援者からの相談を受け、福祉サービスの利用や支援の方向性の検討を行った。医療、教育、福祉の専門機関がそれぞれの役割を理解しつつの緩やかな繋がりを広めてきている。 【相談件数】：247件 （内訳）個別支援：117件、会議等出席：130件</p> <p>(6)指定特定障害者相談支援事業・障害児相談支援事業 障害児・者への継続的な相談支援として、相談の受付、アセスメントを行い障害児・者の抱えている課題に対し適切なサービス等利用計画の作成を行い、安心して地域生活が送れるための見守り支援を行った。 ◇障害児相談支援 障害児支援利用計画：352件、継続サービス利用支援：362件 ◇障害者相談支援 サービス等利用計画作成：308件、継続サービス利用支援399件</p>
3. 職員数	管理者1名、長野市委託相談員3.5名、療育コーディネーター2名、発達障がいサポートマネージャ1名、相談支援専門員7名
4. 開設時間	月曜日～金曜日 午前8：30～午後5：30

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	森と木 365	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>在宅生活をしている障害のある人の家族の介護負担軽減や体験宿泊的な支援等を目的に宿泊の支援を行った。利用者の処遇については、身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介助を適切かつ効果的に行うことができた。</p> <p>新たな利用希望は随時相談に応じており、10名以上の新規契約者が利用を始めている。また、他圏域での困難ケースの受け入れも行なった。なお、虐待を含めた家庭内トラブルで緊急的な利用が必要な障害のある人の受け入れも継続して行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) サービス等利用計画に沿った短期入所の提供 サービス等利用計画に沿って短期入所サービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(2) その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスを実施した。 ・利用者の支援会議に参加し、サービスの調整を行った。 		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、生活支援員 3 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 14.1 名（定員 18 名）※契約者数 250 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～日曜日</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <hr/> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】			
事業所名	森と木 365	サービスの種類	居宅介護(身体、通院)・行動援護、移動支援、市町村タイムケア、長野市障害児自立サポート、独自サービス
1. 総括	<p>平成 30 年 4 月、短期入所事業所「森と木 365」と同一建物へと事業所移転ならびに名称変更をし、地域における生活支援拠点としての体制強化をはかった。行動援護事業、市町村移動支援事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の方を対象に平日の夕方や休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。また、ホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある方に対し、自分らしく生活が送れるようヘルパーを派遣し、居宅介護事業の提供を行った。タイムケア、自立サポート、独自サービスについては、在宅で生活されている方の一時的な預かりや緊急時の預かり、介護軽減等を目的にサービスの提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 市町村移動支援事業、行動援護事業の実施 平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。また、集団が苦手な方には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。</p> <p>-----</p> <p>(2) 居宅介護 在宅で生活されている方やケアホームで生活されている方を対象に、居宅介護等計画に沿った身体介護や家事援助の提供を行った。また、定期通院などには通院等介助の提供を行った。</p> <p>-----</p> <p>(3) 市町村タイムケア 障害のある方が、家庭等で介護できないときに一時的な預かりや緊急時の預かりなどを行った。</p> <p>-----</p> <p>(4) 長野市障害児自立サポート 障害のある子どもが、地域で充実した生活を送りながら、将来の自立に向けた様々な体験ができるよう支援を行った。</p> <p>-----</p> <p>(5) 法人独自サービス 病院の付添等福祉サービスが使えない場合や、タイムケア・自立サポートの上限数を超過してしまった場合などに、利用者の実費負担でサービスの提供を行った。</p> <p>-----</p> <p>(6) その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス提供責任者 2 名 ヘルパー 30 名		
4. 利用者実績	月平均利用時間 居宅介護 330 時間、行動援護 50 時間、移動支援 189 時間、タイムケア 883 時間、自立サポート 398 時間		
5. 開設時間	365 日 24 時間		
	<p>(1) サークルQ 毎週の土曜もしくは日曜に外出や料理などの 2 企画 10 名程度で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。また、1泊2日の旅行も 3 回開催し、年齢に応じた活動の提供を行った。</p>		

6. 活動/作業内容	<p>(2)アフター5 (月)料理、(火)歌サークル、(水)アートサークル、(木)スポーツ、(金)個別活動(行動援護)と活動を設定し、サービスの提供を行った。金曜の個別活動では、それぞれのニーズに応じた活動内容を提供することができた。</p> <p>(3)居宅介護(身体介護、通院介助) 在宅で暮らしている方やケアホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p> <p>(4)タイムケア 日中の一時預かりや緊急時などの対応、サークルQ やアフター5 等で外出以外の余暇活動の支援を行った。</p> <p>(5)長野市障害児自立サポート 放課後等デイサービス以外の時間帯で児童に対してサービスの提供を行った。</p> <p>(6)ダンススクール 毎月2回、日曜日に開催した。</p>
7. 単年度事業等	なし

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	こども発達支援センター B e e	サービスの種類	児童発達支援 保育所等訪問支援
1. 総括	障害のある子どもや発達に不安のあるご家族の相談業務を行った。通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適應することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。また、発達に心配のある乳幼児期のお子さんに対し、遊びを通して楽しみながら発達を促す支援を行ったほか、家族への子育て支援も行ってきた。地域の保育園、幼稚園へ移行した子どもに対し保育所等訪問支援を行ない、子ども支援や園の保育士にアドバイスを行なった。		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った児童発達支援および保育所等訪問支援を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6か月毎にケア会議を開催した。</p> <p>(3)長野市乳幼児健全育成事業（すくすく広場プラス）の実施 保健センターで実施されるすくすく広場に参加する子ども及びご家族に対し、長野市保健所と連携し、育児や発達支援、発達相談等を行った。</p> <p>(4)その他の事業 地域の保育所、小学校等への移行支援を行なった。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 2 名、児童指導員 2 名、保育士 10 名、看護師 3 名、訪問支援員 2 名		
4. 利用者実績	児童発達支援 1 日平均 26 名（定員 25 名）※契約者数 60 名 保育所等訪問 年間 229 件 ※契約者数 47 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1)基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。</p> <p>(2)社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。</p> <p>(3)運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や、看護師による健康管理などの支援を行った。また、月 1 回土曜日に体操教室、親子教室を開催した。 なかよし教室：年 9 回実施、たいそう教室：年 10 回実施。</p> <p>(4)ママさんグータンの実施（母親同士の交流会等） 6 月 12 日 稲荷山養護学校見学会、6 月 15 日 長野養護学校見学会 6 月 18 日 信大附属特別支援学校見学会 7 月 3 日 就学についての勉強会 （講師：長野市教育センター教育相談室 大井透氏） 8 月 20 日～24 日 プール参観、5 月 21 日～25 日、2 月 18 日～22 日 保育参観</p> <p>(5)みんなの広場の実施(家族参加のお楽しみ会) 4 月 21 日 親子レク(22 家族)、7 月 21 日 なつまつり(33 家族) 10 月 27 日 うんどうかい (会場：昭和の森公園体育館、33 家族) 12 月 22 日 クリスマス会 (35 家族)、3 月 21 日 ムーミン進級お祝い会(5 家族) 3 月 30 日 おもいで会、卒園式(会場：柳原総合市民センター、34 家族)</p> <p>(6)保育所等訪問支援の実施 保育所 15 園、幼稚園 5 園、小学校 8 校、養護学校 1 校において、個別および担当保育士などへの支援を行った。</p>		
7. 単年度事業等	増築工事実施。		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	共同生活援助
1. 総括	<p>共同生活援助指定事業所として共同生活援助計画に基づき、利用者ひとりひとりが主体的に自らの生活を作り上げられることに焦点をあて、きめ細かな支援を行ってきた。利用者が地域において、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行った。</p> <p>また、平成 30 年 8 月に新規グループホーム「エクセリーナ森と木」定員 10 名（1 階支援型。2 階巡回型）の開設に伴い、コーポ 21、クオリティ桜を廃止し統合を行なった。平成 31 年 2 月にはサンディおわりべを廃止。昨年度から引き続き利用者のサテライト型グループホームへの移行を行っている。新規サテライトグループホームはティエラ他 3 か所を開設し、入居者の要望に応じた暮らしが実現できるよう、きめ細やかな支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 共同生活援助計画の作成 6 ヶ月に 1 度、共同生活援助計画の見直しを行い必要に応じて変更を行った。</p> <p>(2) 生活支援 食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者 1 人ひとりの個別支援計画に沿ったサービスを提供した。</p> <p>(3) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方向けに 10 月に長野県健康づくり事業団による健康診断を実施した。また、希望者にはインフルエンザの予防接種や歯科検診の機会を提案し、健康管理に努めてきた。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 3 名、世話人 33 名、生活支援員 60 名		
4. 利用者実績	1 日平均 84 名（定員 102 名）		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <p>(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。</p> <p>(3) 健康管理 体調不良や定期通院等必要に応じて通院に付き添い、医療機関との連携を図りながら日々の健康管理に努めた。</p> <p>(4) 夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、生活支援員と情報交換を行い、連携を図った。</p> <p>(5) 金銭管理 金銭管理については基本的に法人では行わない方針であるが、ご家族による金銭管理が難しい場合や、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の契約が難しい場合においては例外的に、法人金銭管理規定に基づき金銭管理を行っている。今年度も継続して 5 名の方について金銭管理を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

各共同生活住居の状況

住居名	開設時期	所在地	定員	現員
みわ	平成 17 年 10 月	長野市三輪	5 名	女性 3 名
ぼるて平林 A・B	平成 18 年 4 月	長野市平林	8 名	男性 8 名
サンディ東和田	平成 19 年 4 月	長野市東和田	7 名	女性 7 名
パル平林	平成 20 年 4 月	長野市平林	5 名	男性 4 名
アルファ東和田 I	平成 21 年 11 月	長野市東和田	6 名	男性 6 名
メゾン浅川 A・B	平成 22 年 9 月	長野市浅川押田	12 名	男性 12 名
アルファ東和田 II	平成 23 年 4 月	長野市東和田	6 名	女性 6 名
メゾン浅川 II	平成 24 年 3 月	長野市浅川押田	4 名	男性 2 名
サンハイム稲田 A・B	平成 24 年 4 月	長野市稲田	9 名	男性 9 名
ハイツもりた	平成 25 年 4 月	長野市高田	6 名	男性 3 名 女性 3 名
グリーンハイツ稲田	平成 27 年 3 月	長野市稲田	6 名	男性 6 名
グリーンハイツ稲田イースト	平成 28 年 4 月	長野市稲田	7 名	男性 6 名 女性 1 名
エクセリーナ森と木 A・B	平成 30 年 8 月	長野市稲田	10 名	男性 9 名
コーポやよい	平成 29 年 4 月	長野市高田	1 名	男性 1 名
上高田アパート	平成 29 年 4 月	長野市上高田	1 名	男性 1 名
ファンタジー21	平成 29 年 4 月	長野市三輪	1 名	男性 1 名
セジュールオークヤード	平成 29 年 8 月	長野市風間	1 名	男性 1 名
コーポピクル I	平成 30 年 3 月	長野市平林	1 名	男性 1 名
コーポ田中	平成 30 年 3 月	長野市吉田	1 名	男性 1 名
ティエラ	平成 30 年 6 月	長野市高田	1 名	女性 1 名
平林ピア	平成 30 年 10 月	長野市平林	1 名	女性 1 名
コーポピクル II	平成 30 年 11 月	長野市平林	1 名	女性 1 名
居町コーポ	平成 31 年 3 月	長野市居町	1 名	女性 1 名

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	グリーンハイツ稲田	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>児童養護施設、精神科病院などを退所したが家庭での生活が困難な障害児・者に対し、地域移行のためのアセスメントと必要な支援を検討・実施することを目的に、短期入所のサービスを提供した。</p> <p>利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な相談支援等を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、生活支援員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 1.1 名（定員 2 名）※契約者数 2 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～日曜日</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <hr/> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	こどもの自立生活館茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定されたクラブの参加を通して支援を行った。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <hr/> <p>(2)個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(3)その他の事業 送迎サービス、避難訓練、茜舎説明会、個別面談</p>		
3. 職員数	<p>管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士2名、児童指導員1名、指導員3名</p>		
4. 利用者実績	<p>1日平均10名（定員10名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後2:30～午後6:30 土曜日等学校休業日 午前9:30～午後3:30 ※緊急時の対応として、365日24時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)わくわくプログラム 小学校1年～3年生を主な対象とし、週替わりで活動を提供することで様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。</p> <hr/> <p>(2)クラブ 曜日ごと放課後の時間にアウトドア、お料理、アート、おでかけ、スポーツ、お楽しみクラブを実施し、様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】

事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定された部活動の参加を通して支援を行い一人ひとりが目標を持って活動に参加できるよう支援をおこなった。</p> <p>また、主な活動場所として地域の施設を積極的に使用し、日々の練習の成果を発表する機会として合宿や記録会などの大会に参加し、自己ベスト更新など一人ひとりの目標を達成する事ができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <hr/> <p>(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <hr/> <p>(3) その他の事業 送迎サービス、茜舎説明会、個別面談</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、児童指導員 1 名、指導員 4 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 7 名（定員 10 名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30 土曜日、学校休業日 午前 9:30～午後 3:30 ※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 部活動 放課後の時間に（月）ダンス部、（火）クッキング部、（水）水泳部、（木）スポーツ部、（金）アートワーク部、（土）おたのしみクラブを実施した。また、日頃の練習の成果の発表の場として、大会や発表会を実施した。 長期休暇に関しては特別プログラムとし、プールやデイキャンプなどの活動を提供した。</p> <p>(2) イベント等</p> <p>①スポーツ部 10月21日（日）須坂ハーフマラソン(5km、3kmの部)に5名出場。参加者全員が完走することができた。</p> <p>②アートワーク部 3月12日～森と木入口ホールにて展示会を実施した。</p> <p>③クッキング部 3月12日に古牧公民館にてご家族を招き食事会を実施した。</p> <p>④ダンス部 3月11日にダンス発表会を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 30 年度】			
事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>主に特別支援学校を卒業した知的障害のある方を対象に、様々な社会体験プログラムを提供した。活動のなかで地域の店舗や公共施設を積極的に活用し、地域住民との関わりをもつことで、一人ひとりが社会経験を積み、関わりを広げながら自己肯定感を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>チャレンジ企画では一人ひとりの目標を明確にし、それを意識することで、一層の達成感や充実感をもつことができるよう支援を行ってきた。</p> <p>また、利用者の希望や個別面談を通じ、移行支援を行い、4名が希望する施設へ移行をした。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を実施した。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議等</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 12 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 19 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9:00～午後 4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1)自立生活プログラム 公民館や図書館等の公共施設等や地域の店舗を活用しながら、クラスごとに身近な生活に関わる内容をテーマに社会学習に取り組んだ。また、チャレンジ企画前には事前学習を行い、企画への見通しを持ち、活動意欲を高めるプログラムに取り組んだ。</p> <p>(2)進路支援 利用者の希望や個別面談の内容に基づき、法人内の生活介護事業所や、就労継続 B 型事業所の見学・実習を行った。2 年～3 年生のうち、4 名の方が施設移行することができた。</p> <p>(3)チャレンジ企画 6 月 1 日 森と木登山（飯縄山） 8 月 30 日・31 日 森と木キャンプ（飯綱東高原） 10 月 11 日・12 日 森と木ウォーク（長野→飯山）</p> <p>(4)作業活動 下請作業、製菓作業、花壇整備作業を実施した。</p> <p>(5)アート活動 日々作られる作品から作品展や雑貨製作を行った。定期的な作品展の他に、外部で行う作品展へも参加した。また、キノ前で行うアートイベントに地域の方にも参加してもらうことで繋がりを作ることができた。</p> <p>(6)サークル活動 うた、スポーツ、陶芸などのサークル活動を行った。</p> <p>(7)おもしろ文化講座以下の 6 企画を実施した。 5 月 カメラの世界について（プロカメラマン） 6 月 海外の生活について（元青年海外協力隊） 7 月 TV 局の仕事について（NHK 長野放送局） 9 月 里山の歩き方（NPO 法人長野トレッキング協会） 11 月 結婚式場の仕事について（アマンダスカイ） 12 月 しめ縄作り（地域のしめ縄名人）</p>		
7. 単年度事業等	なし		